

## 荒島岳

Hiya

期 日：2018年10月3日（水） 快晴

コース：大野市内宿 7:00…(Taxi)…勝原スキー場跡 7:14/20 →リフト終点跡 8:10→シャクナゲ平 10:02/14 →荒島岳 11:30/05→シャクナゲ平 13:23/30 →小荒島岳 13:53/00→中出登山口 16:03/08…(Taxi)…宿 16:20

参加者：単独

初秋の荒島岳を登った。前日、福井城址、北の庄城址、一乗谷朝倉氏遺跡を回って大野市内に宿泊。当日は悪天による2回延期の甲斐あって絶好の登山日和。翌日、大野城、丸岡城を見学して帰途に。越前福井に浸りきった3日間だった。



勝原旧スキー場の駐車場。平日とあって駐車は数台のみ



旧ゲレンデの舗装道を真っ直ぐに登る。結構急な斜面だ。



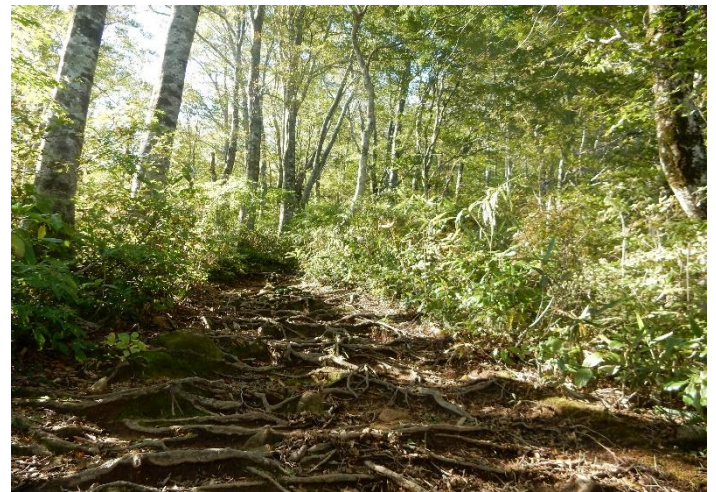
突き当りを右に巻いて更にスキー場跡に登る。



残骸が残る旧リフト終点に出る。ここまでは旧スキー場内。



その先に「荒島岳登山口」の標柱。ここからが登山道。



暫く行くとブナ林となる。登山道には木根が張る。





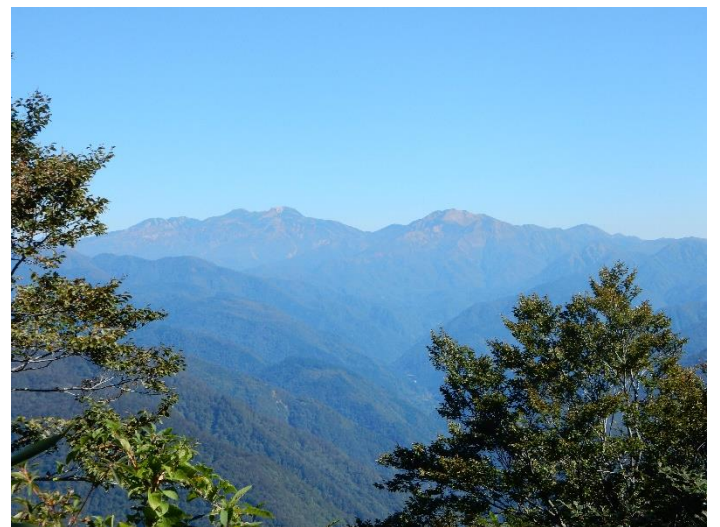
ブナの大木「トトロの木」は先の21号台風で倒れた。



ブナ林のなか急登が続く。木の階段が多い。



シャクナゲ平に出る。木に囲まれ意外と狭い。  
ここで勝原コースと中出コースが合流する。



背後に白山と別山が見える。



少し下って登り再び始めると滑落注意の警告。  
本コース最大難所の「もちが壁」が近い。



「もちが壁」核心部の岩場。  
急坂だか鎖、ロープ、階段がある。





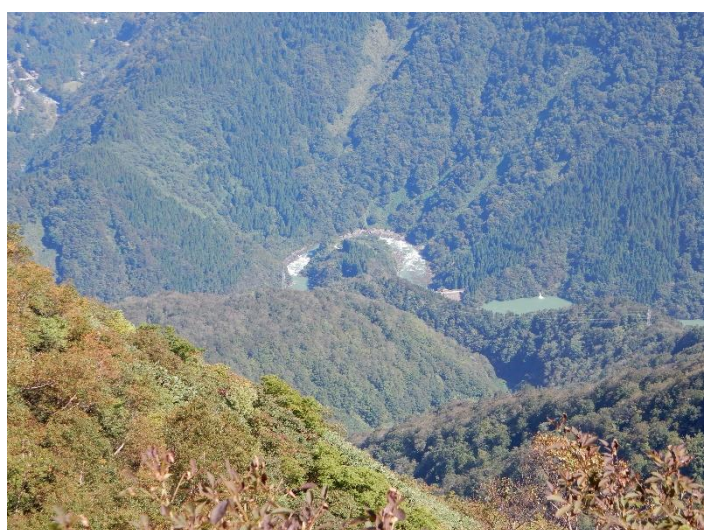
前荒島岳に上がると荒島岳山頂が見えてくる。



手前が中荒島岳、その左奥に荒島岳



中荒島岳からは緩やかな登りとなる。



左下を覗きこむと谷を削る九頭竜川



山頂はもうすぐ



山頂からは360度の展望。  
白山のほか、乗鞍、御岳など北アルプスの山、  
名も知らぬ多数の周りの山々。





広い大野盆地。東西、南北とも約 10 km。  
陥没断層性の盆地で、1,500m級の山々に囲まれている。



のどかな山頂風景。早く下りるのが勿体ない。



白山の山並みを正面に見ながら下り始める。



紅葉は色づき始めたばかり

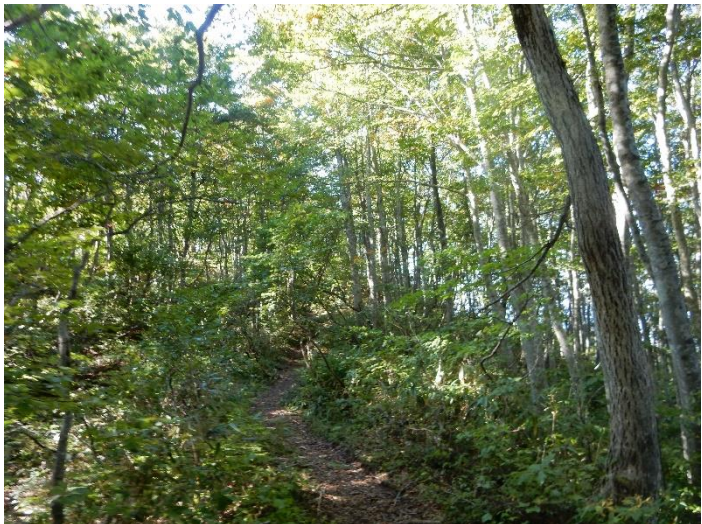


シャクナゲ平から下出コースに入る。  
傾斜は緩やかだが距離が長い。最後まで誰とも会わない。

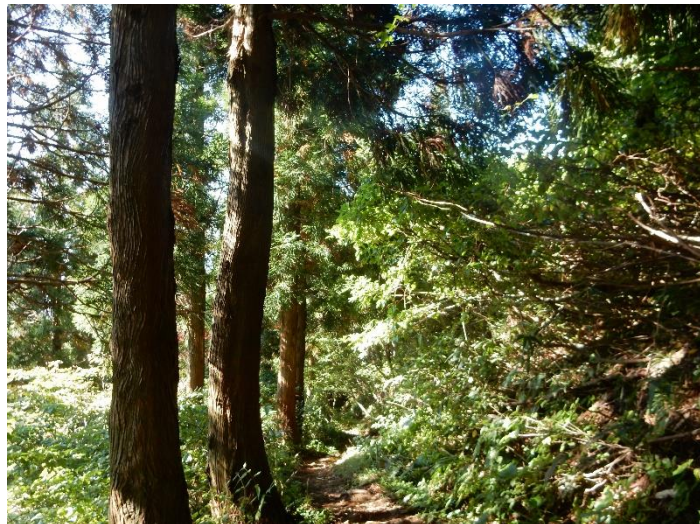


下山道から少し登ると小荒島岳の山頂。  
初めて荒島岳山頂部の全景が見える。





ブナ林を下りる。



かなり下りると杉林となる。荒れ気味だが道はしっかり。



最後は林道を歩きタクシーの待つ中出登山口に



翌日、大野城から見る荒島岳の全景

荒島岳は標高 1,523.4mのあまり高くない山だが登り甲斐のある、風格のある山だ。下りた後も余韻が残る。ネット検索すると、百名山のうち標高は6番目に低いが、難易度では22番目に難しいとある。成程と思う。

.....

.....

.....

